

# 京都産業大学 ことばの科学研究センター 2022年度 第1回研究会

目的語関係節と when 従属節が同じであることについて  
－ ニョ口語からの考察 －

梶 茂樹

(ことばの科学研究センター 研究センター員・現代社会学部 元客員教授)

ウガンダ西部に話されるバンツ系のニョ口語について、目的語関係節と when 従属節とが同じであることを示す。正確には、when 従属節とは目的語関係節の一部であるということである。ニョ口語ではテンス・アスペクト・ムードによる 1 つの活用において、基本形（主節）、主語関係節、目的語関係節、when 従属節、if 従属節の 5 つの動詞形を区別しなければならない。例えば英語では、基本形 he reads a book、主語関係節 a person who reads a book、目的語関係節 a book which he reads などのように 5 つの動詞形は同じになるが、ニョ口語では原則異なる。そしてその違いは主として声調によって示される。しかしニョ口語で確認されたすべての活用において、目的語関係節と when 従属節の動詞形は同じ形を取るのである。日本語でも「彼が読むもの」と「彼が読むとき」はどちらも連体修飾である。

2022年5月25日（水）15:00～17:00

第三研究室棟三階会議室および Teams によるオンライン開催

オンラインによる参加の場合のみ、下記へメールでお伝えください。

発表時の Teams に登録いたします。

[center-lg-studies@cc.kyoto-su.ac.jp](mailto:center-lg-studies@cc.kyoto-su.ac.jp)（ことばの科学研究センター）